

【別紙1】

平成 23 年 度

# 事 業 報 告 書

公益社団法人 日本動物園水族館協会

# 公益社団法人日本動物園水族館協会の組織

(平成24年3月31日現在)

1. 総 裁 秋篠宮文仁親王殿下
2. 会 員
  - 正 会 員：152名 (動物園86園、水族館66館)
  - 個人会員：0名
  - 維持会員：52団体
3. 議決機関
  - 総 会：年1回開催、正会員で構成する。
  - 理 事 会：理事17名で構成し、年2～3回開催する。
4. 執行機関〔会 長、専務理事、(理事会)〕
  - 事務局：参与(非常勤)、事務局長、職員3名
  - 動物情報センター：動物園・水族館及び希少動物保護増殖に関する情報資料の収集と活用に関する事業を実施する。
  - 地域別会議：各ブロックに代表理事をおき、ブロック内協議会、研修会、研究会等を開催する。
    - 北海道ブロック
    - 関東東北ブロック
    - 中部ブロック
    - 近畿ブロック
    - 中国四国ブロック
    - 九州沖縄ブロック
  - 運営委員会：担当理事、部長、部員をおき事業計画に基づく専門事項の計画、執行を担当する。
    - 総 務 部 (7名)：事業運営、他部に属しない事項に関すること
    - 教 育 部 (7名)：園館職員の資質の向上並びに一般に対する普及啓発活動に関すること
    - 安全衛生部 (7名)：園館職員の安全衛生対策などに関すること
    - 情 報 部 (7名)：情報ネットワーク事業などに関すること
  - 種保存委員会：会長、委員会事務局長、類別調整者など17名で構成する。
  - 倫理委員会：会長、副会長、ブロック代表理事など9名で構成する。
  - 情報センター運営委員会：会長、副会長、ブロック選出の委員など10名で構成する。
  - 飼育技師資格認定委員会：会長、委員6名、事務局8名(教育部員が兼務)で構成する。
  - 飼育ハンドブック編集委員会：会長、教育部担当理事、教育部員などで構成する。
  - 動物園水族館雑誌編集委員会：会長、動物園・水族館関係者、学識経験者など10名で構成する。
  - 野生動物保護募金選考会議：副会長、運営委員会(情報部を除く)及び種保存委員会の代表など5名で構成する。
5. 諮問機関
  - 名誉顧問 (1名)：特に永年にわたり当協会の運営に特別の功労があった者で、理事会の総意をもって承認した者。
  - 顧 問 (2名)：専門知識を有し、理事会が推薦した者。
  - 会 友 (88名)：園館長歴10年以上、及び特別な功労のあった者で、理事会が承認した者。
6. 監査機関
  - 監 事 (2名)：動物園から1名、水族館から1名就任。

事業の総括表

事業区分	事業細目	費用	
I 公益 目的 事業 会計	第1. 調査・研究 に関する事業	1. 調査に関する事業 (1) 飼育技術に関する調査（宿題調査） (2) 年報・飼育動物一覧表の発行 (3) 月報の発行 (4) 鳥インフルエンザ調査  2. 研究に関する事業 (1) 研究会の開催 ① 全国研究会・会議 ② ブロック内研究会 (2) 動物園水族館雑誌の発行 (3) 研究成果に関する表彰 (4) 安全衛生対策研究	7,371千円
	第2. 教育活動・ 普及啓発に 関する事業	1. 教育活動に関する事業 (1) 研修会の開催 ① 全国研修会 ② ブロック内研修会 (2) 飼育技師認定試験の実施 (3) 新・飼育ハンドブックの発行 (4) 海外研修 (5) 教育部会の開催 (6) 日本博物館協会との連携  2. 普及啓発に関する事業 (1) 事業概要の発行 (2) 動物愛護週間行事等の実施 (3) 飼育の日の実施 (4) 情報ネットワーク事業 (5) 広報事業（広報戦略事業など）	16,000千円
	第3. 種保存に 関する事業	1. 種保存計画の推進 (1) 種保存諸会議の開催 (2) 血統登録・繁殖計画 (3) 個体群管理研修の開催	

		2. 国内外団体との協力 (1) CBSG、ISIS等との連携 (2) WAZA、SEAZA、IUCN等との連携 (3) GSMP（国際種管理計画）との連携 (4) アジア地域との連携 (5) 情報部会の開催  3. 野生動物保全に関する事業 (1) 鳥インフルエンザ対策の国への要望 (2) 鳥インフルエンザ対策検討会議開催 4. 野生動物保護募金事業 (1) 野生動物保護募金活動 (2) 野生動物保護活動助成事業 (3) 優先種等助成事業 (4) 募金箱補修  5. 受託保全事業 (1) ワシントン条約関連任意放棄動物の 保護事業 (2) 域外保全モデル事業	33,881千円
	第4. 支援事業	1. 東日本大震災支援 2. リビア動物園支援	57,883千円
	第5. 共通経費 (公益目的分)	1. 人件費、修繕・委託費、事務所費	21,889千円
公益目的事業 計			137,023千円
II 法 人 会 計	第1. 法人の管理	1. 会員管理 2. 運営管理に関する会議の開催 ① 総会, 理事会, 総務部会, 三役会議 ② 園館長会議・事務主任者会議 3. 法人管理事務経費	5,515千円
	第2. 共通経費 (法人管理分)	1. 人件費、修繕・委託費、事務所費	11,886千円
法人管理 計			17,401千円
合 計			154,424千円

## I 公益目的事業

### 第1. 調査・研究に関する事業

動物園、水族館に関する調査・研究事業を次のとおり実施した。

#### 一 調査に関する事業

##### 1. 飼育技術に関する調査

###### (1) 調査事項

- ①動物園の部 「哺乳類における駆虫剤の使用状況調査」 (担当：釧路)
- ②水族館の部 「展示魚類の収集（特に定置網について）」  
(担当：海遊館)
- ③海獣の部 「バンドウイルカ・ミナミバンドウイルカの繁殖について」  
(担当：鴨川)

(2) 調査方法 技術者研究会の宿題調査研究として実施した。

(3) 発表 研究会で発表後、動物園水族館雑誌に掲載する。

##### 2. 年報・飼育動物一覧表の発行

###### (1) 年報

- ①発行時期 平成23年8月発行
- ②体裁 A4 電子組版オフセット印刷
- ③内容 ①動物園水族館に関する調査、②入園館料金と将来の予定、③年間有料・無料入園館者調、④経費調、⑤おもなる新施設（動物舎、遊戯施設）、⑥おもなる繁殖動物調、⑦長年飼育動物調、⑧原因別死亡動物調
- ④印刷部数 約450部
- ⑤配布 (無償頒布) 正会員及び維持会員の一部、その他国会図書館等関係機関  
(有償頒布) 1部10,500円

###### (2) 飼育動物一覧表

PDFファイル化し、非公開ホームページに掲載  
2006年～2009年各年集計掲載

##### 3. 月報の発行

- (1)発行時期 前月分を翌月末日までに作成
- (2)発行方法 PDFファイルを非公開ホームページに掲載
- (3)内容 ①事務局報告、②動物園報告〔ア. ニューストピックス、イ. 動物の異動、ウ. 新着動物の餌付方法、エ. 主なる新施設、オ. 催物、カ. 入園者及び飼育動物数、キ. 展示生物の交換、ク. 臨床剖検記事、ケ. 希望連絡事項〕③水族館報告〔調査内容は②動物園に同じ〕
- (4)配付 維持会員（協力会員・賛助会員）にメール配信

##### 4. 平成23年度動物園等における高病原性鳥インフルエンザ対策に係る情報収集等調査業務

環境省から受託し、国内及び外国の特に動物園における鳥インフルエンザ対策の実施状況や事例を収集した。

- ① 日本動物園水族館協会加盟動物園に対する、鳥インフルエンザ対策の実施状況や対策マニュアルの整備状況の調査
- ② 世界の主要国・地域における鳥インフルエンザ対策状況調査
- ③ 国際獣疫事務局(OIE)で規定している鳥インフルエンザ対策の国際基準調査
- ④ 高病原性鳥インフルエンザ防疫の観点での飼育管理における留意事項の整理
- ⑤ 隔離飼育のあり方
- ⑥ ワクチン接種の考え方

## 二 研究に関する事業

### (一)研究会の開催

#### (一の1) 全国研究会の開催

##### 1. 第59回動物園技術者研究会開催

- (1) 日 時 平成23年10月5日(水)～10月7日(金)
- (2) 場 所 札幌市円山動物園・札幌パークホテル
- (3) 出席者 秋篠宮総裁殿下、51園館71名、教育部担当理事1名、研究会事務局2名
- (4) 研究発表
  - 1) 多発性慢性関節炎及び指骨髄炎に起因するインドゾウの死亡例－八木山動
  - 2) 真皮欠損用グラフトを用いた創傷治療例－上野
  - 3) レッサ－パンダにおける性分化異常の1例－姫セン
  - 4) トナカイのセレン欠乏症の治療および予防と、セレン欠乏が疑われたトナカイの回顧的調査について－多摩
  - 5) オオカンガルーの長期群れ飼育の経過と幼獣の死亡原因について－横金沢
  - 6) ケープハイラックスの人工哺育－安佐
  - 7) カンムリシロムクの繁殖の成否に関わる要因について－横浜動
  - 8) オウサマペンギンの先天的な眼の異常について－南紀
  - 9) オオイタサンショウウオの自然繁殖について－高知
  - 10) オキナワキノボリトカゲの飼育下繁殖について－沖縄
  - 11) アミメキリンの治療のためのトレーニングについて－天王寺
  - 12) チンパンジー人工哺育個体における乳幼児期からの群れへの復帰訓練について－円山
  - 13) ホッキョクグマ共同繁殖プロジェクト移動に伴う不動化例の分析に基づく理想的な麻酔の提案－旭山
  - 14) 鯨類の肺疾患確定診断への取り組み～CT画像診断装置の有用性～－沖縄水
  - 15) 鯨類の肺疾患確定診断のための技術的な取り組み～気管支内視鏡導入の試み～－沖縄水
  - 16) オランウータンにみられた子宮筋腫の一例－天王寺
  - 17) ホッキョクグマのてんかん発作の発生状況及び発生要因に関する調査－とべ
  - 18) カメの開腹手術5症例にて得られた知見－野毛山
  - 19) ボルネオオランウータンの繁殖例について－日本平
  - 20) ボルネオオランウータンの本来の繁殖形態に近い飼育繁殖方法について

ー王子 21) スマトラオランウータンの繁殖2例についてー市川 22) チンパンジーの群れ作りから繁殖に至る経過についてー東山 23) 経験豊富なニシゴリラ雌個体による未経験雄個体に対する性交渉の誘導についてー京都  
24) ニホンツキノワグマの人工冬眠下での繁殖ー上野 25) チーターの繁殖についてー多摩 26) シンリンオオカミの屋外放飼場での出産による育子行動の展示ー旭山 27) エゾシカ避妊ワクチンの共同開発についてー帯広  
28) アスペルギルス症のフンボルトペンギンにおける飼育管理についてー下関 29) 都立動物園における鳥インフルエンザ対策の一例ー上野  
30) タンチョウ人工育雛個体の体重増加パターンー釧路 31) 「心をはぐくむ」昆虫を用いた企画ー横浜 32) 園内に自生するホタルの観察会についてー埼玉動

[話題提供] 1) 新施設 は虫類・両生類館とその機能ー円山 2) 飼育動物の展示工夫の試みについてー大森山

[ポスター発表] 1) ブチハイエナの染色体検査による性判別についてーのいち 2) リスザルの人工哺育と群れへの復帰訓練についてー円山 3) シロオリックスの出産後に見られた異状とその治療についてー千葉

(5) 宿題調査報告 「哺乳類における駆虫剤の使用状況調査」

担当：釧路市動物園

(6) 宿題調査テーマ「害獣・害虫駆除及び忌避対策」

担当：アドベンチャーワールド

(7) 次期開催園館 平成24年度 宮崎市フェニックス自然動物園

(8) 施設見学 札幌市円山動物園

## 2. 第56回水族館技術者研究会開催

(1) 日 時 平成24年2月2日(木)～3日(金)

(2) 場 所 山口県国際総合センター・海峡メッセ下関

(3) 出席者 秋篠宮総裁殿下、51園館96名、会友1名、会長、副会長1名、研究会事務局2名

(4) 研究発表 1) 定置網漁に大量入網したハナデンシャの飼育および観察についてーしまね 2) 富山湾沿岸における魚類相調査ー魚津 3) 富山湾で確認されたリュウグウノツカイー魚津 4) フサギンポの繁殖についてー海中水 5) 飼育下におけるクロイシモチの繁殖と初期飼育ー下関 6) コンペイトウの繁殖についてー越前 7) アカムツの人工授精と仔魚の初期飼育についてー新潟 8) タイマイの初期育成と体重維持摂餌量ー名港水 9) アカウミガメ幼体の初期餌料における必要栄養についてー沖縄水 10) カイカムリ科幼生の育成ー下関 11) 飼育下における異尾下目2種の繁殖についてー城崎 12) ゴエモンコシオリエビの飼育方法について(中間報告)ー新江水 13) クラゲ展示水槽の設計に必要な条件と手法についてーサンシ 14) 飼育下における海水性白点虫のシスト

動向—沖縄水 15) 加温処理を用いたアユの冷水病の治療—琵琶湖 16) ニホンアワサングの飼育下での育成および着生に適した基盤の検討—下関 17) かごしま水族館における造礁サンゴ繁殖への取り組み—鹿児島 18) カンクティイ斯科魚類（硬骨魚類，ノトセニア亜目）の採集と輸送—葛西水 19) 南極産魚類アンタークティックスパイニープラウンダーの累代繁殖—名港水 20) サンゴタツの育成初期における飼育環境—東海大 21) 飼育下におけるネットアイズズメダイ仔稚魚の育成—鴨川

[話題提供] 1) 解説パネル改善の一例について—竹島 2) ピラルク成魚の長距離輸送例—男鹿水 3) ヒクラゲの採集・輸送・展示—新江水 4) 海水消費を抑えたサンゴ類展示水槽の完成まで—サンシ 5) 展示水槽内でのサツキマスの産卵誘起の試み—岐阜水

(5) 宿題調査報告 「展示魚類の収集（特に定置網について）」

担当：大阪・海遊館

次期テーマ 「スキューバ潜水について」

担当：大分マリンパレス水族館「海たまご」

(6) 懇談事項

- 1) 次期宿題調査について：申し込み2件、協議の結果上記のテーマに決定
- 2) 研究会事務局からの連絡 ①研究発表内容について 3) その他

(7) 次期開催地 平成24年度 千歳サケのふるさと館

平成25年度 関東東北ブロック

(8) 施設見学 下関市立しものせき水族館

### 3. 第37回海獣技術者研究会開催

(1) 日 時 平成23年11月16日(水)～17日(木)

(2) 場 所 男鹿水族館GAO・男鹿観光ホテル

(3) 出席者 40園館65名、会長1名、教育部1名、会友2名、オキナワマリンリサーチセンター2名

(4) 研究発表

- 1) カマイルカ新生子に於ける自発摂餌開始時期について—南紀 2) カマルカ仔獣の自然離乳経過と自然離乳における複数飼育の有効性について—海遊館 3) シロイルカ新生児の人工哺育の試み—名港水 4) ジェンツーペンギンで試みた雛の成育コントロールについて—男鹿水 5) ホッキョクグマのペアリングから出産準備までの飼育管理—旭山 6) シロイルカの早死産の1例について—しまね 7) バンドウイルカにおける熱中症—オキナワマリンリサーチセンター 8) 飼育下バンドウイルカの *Enterococcus faecalis* による敗血症治療—沖縄水 9) 心筋梗塞によるスナメリの死亡例—海中水 10) 鯨類の鎮静下における抜歯術について—沖縄水 11) 体毛を用いた飼育下におけるゴマフアザラシの血縁判定と繁殖システムの推測—加茂水 12) カリフォルニアアシカのトレーニング導入について—大森山 13) カリフォ



ルニアアシカのトレーニング下における口腔内のX線撮影—岐阜水 14) バンドウイルカの採尿トレーニングについて—オキナワマリナリサーチセンター  
15) 北海道白老沖で保護されたカマイルカについて—ニクス 16) 飼育下カマイルカに見られた脊椎湾曲の一例—城崎 17) 腹びれのあるバンドウイルカ飼育—くじら 18) カマイルカの精液中精子数の年変動—新潟 19) 飼育下スナメリの血液性状について—下関

(5) 宿題調査報告 「バンドウイルカ・ミナミバンドウイルカの繁殖について」

担当：鴨川シーワールド

次期テーマ 「鯨類の動物事故に関して」

担当；沖縄美ら海水族館、鴨川シーワールド、新潟市水族館、

太地町立くじらの博物館の4館共同

(6) 次期開催地 平成24年度 名古屋港水族館 平成25年度 近畿ブロック

(7) 施設見学 男鹿水族館GAO

#### 4. 動物園水族館設備会議開催

(1) 日 時 平成23年10月12日(水)～13日(木)

(2) 場 所 12日；東横イン中部国際空港本館大会議室

13日；南知多ビーチランド

(3) 出席者 32園館52名、維持会員16団体30名、その他業者等5社8名

(4) 研究発表 1) 東日本大震災の被害と復旧報告—マリネピア松島水族館2) 老朽化バフライバルブの交換作業の効率化と操作性の向上—旭有機材工業(株)  
3) 南知多ビーチランド イルカショープールの防水補修工事における事例の紹介—(株)ハマネツ4) 展示水槽内で水中施工可能な弾性補修材としてのシーリング材について—大阪海遊館 5) アスピレータ通水型オゾナイザーの紹介—旭有機材工業(株) 6) コンパクトで逆洗不要な硝化システムの開発—長岡技術科学大学/大成建設(株) 7) ウミヘビ専用水槽「ラティコウダ・タンク」について—神戸市立須磨海浜水族園

(5) 宿題調査

1) 『省エネルギー対策の現状と今後の課題』 担当：鴨川シーワールド

2) 次回宿題調査テーマ 『展示照明に関する調査』(LED・省エネ性・展示効果・耐食性など) 担当：名古屋港水族館

(6) 懇談事項

1) 次期および次々期開催館について (ブロックローテーション開催について)

2) 業務委託や外注などによる施設運営と技術の継承に関すること、飼育現場と施設管理との間の相互関係についてなど意見交換

(7) 次期開催園 平成24年度 宮島水族館 平成25年度 未定

(8) 施設見学 南知多ビーチランド

## 5. 第15回鯨類会議開催

- (1) 日 時 平成23年7月5日(火)13:30～17:30
- (2) 場 所 神戸市立須磨海浜水族園・ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
- (3) 出席者 日動水協会員園館32館52名、関係機関5団体8名
- (4) 議 題 1)我が国の捕鯨を取り巻く情勢 2)鯨類座礁時のコメントについて  
3)動物園水族館からの報告①シャチの死亡について②イルカの新興真菌症について③バンドウイルカ搬入希望個体及び余剰個体に関するアンケート結果報告④運営要綱の承認⑤「カズハゴンドウとシロハイルカの試験操業について」⑥「バンドウイルカの抽選について」⑦水産庁への要望⑧その他

## 6. 第21回ゾウ会議開催

- (1) 日 時 平成23年11月10日(木)～11日(金)
- (2) 場 所 沖縄こども未来ゾーン内Z00スクール
- (3) 出席者 40園館69名
- (4) 研究発表 1)金沢動物園におけるオスのインドゾウ26年間の飼育管理について—横金沢 2)アフリカゾウの皮膚のケアを目的とした水洗いトレーニング—東山 3)エンリッチメントとしてのゾウの描画について—横浜動 4)アフリカゾウにおける排卵日の特定、LHの測定について—とべ 5)アジアゾウの飼育管理の経過と課題について—京都 6)新ゾウ舎放飼場の完成およびその馴致について—福岡 7)飼育下老齢ゾウにおける体調変化について—天王寺 8)横臥状態になった仔ゾウ「オウジ」の現在—王子 9)施設の問題点とその対策について—岡崎動 10)各地で設定されているゾウの飼育基準について—天王寺 11)アジアのゾウと野生生物の健康に関する国際会議報告—井の頭
- (5) 講 演 「国内のゾウの飼育管理に関する研究報告～ゾウ飼育の現状と展望—小山奈穂(麻布大学)
- (6) 次期開催地 平成24年度 姫路セントラルパーク 25年度 到津の森公園
- (7) 施設見学 沖縄こども未来ゾーン

### (一の2) ブロック内研究会の開催

#### 1 動物園技術者研究会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備 考
関東東北	野毛山	23. 5. 16	21園館50名	第1回
〃	夢見	23. 9. 7	25園館54名	第2回
〃	かみね	24. 1. 25	25園館44名	第3回
近畿	姫路動	23. 10. 26	9園館19名	
九州沖縄	海中動	24. 1. 28～29	17園館41名	

## 2 水族館技術者研究会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北	品川水	23. 11. 15～16	18園館33名	

## 3. その他のブロック会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
中部	富士動	23. 6. 8～9	15園館16名	第1回獣医研究会
〃	岡崎動	23. 9. 14～15	14園館16名	第2回獣医研究会
〃	東山	23. 12. 7～8	17園館20名	第3回獣医研究会
近畿	鳥羽	23. 7. 14	13園館24名	臨床研究会

## (二) 動物園水族館雑誌の発行

- (1) 発行 第52巻第2号
- (2) 体裁 B5 DTPオフセット印刷 約30頁
- (3) 内容 動物園、水族館で日常の飼育業務を通じて得た知見等を取りまとめた投稿を主体に、その他調査研究、短報、各研究会での発表抄録等を掲載。
- (4) 編集会議 平成23年6月14日、9月8日、平成24年2月9日の計3回開催し、掲載原稿の審査を行った。
- (5) 編集委員 ・編集顧問：正田陽一（東大名誉教授）、林 良博（東京農大教授）、鈴木克美（東海大名誉教授）  
・委員長：山本茂行（会長）  
・委員：樺澤 洋\*（油壺）、勝俣悦子\*（鴨川）、西田清徳\*（海遊館）、原久美子\*（横浜市）、福井大祐\*（旭山）、野田 亜矢子\*（安佐）、北村専務理事 [\* 印は編集実務担当]
- (6) 印刷部数 各号 650部

## (三) 研究成果に関する表彰

### 1. 技術研究表彰

- (1) 審査対象論文：動物園水族館雑誌第51巻第3・4号～第52巻第1・2号の8論文
- (2) 平成23年度技術研究表彰論文
  - 1) 原著「飼育下オウサマペンギンの性別および繁殖ステージに関する血液化学値の変動」  
著者：伊東隆臣、三木真理子（大阪・海遊館）（掲載号 第52巻2号）
  - 2) 原著「相模湾湯河原沖で捕獲された雌のメガマウスザメー内部形態および寄生虫一」  
著者：金子和久、中井 武、倉持利明、佐藤寅夫、藤田 清、樺澤 洋（京急油壺マリンパークほか）（掲載号 第52巻2号）
- (3) 表彰 平成23年度通常総会で表彰し、受賞者は記念講演を行った。

## 2. 繁殖動物表彰

(1) 表彰動物[19園館26件]

(2) 表彰時期 平成23度通常総会

(3) 賞 動物舎に貼付用の表彰板

No.	園館名	動物名	繁殖区分	6ヶ月以上 生育数 (表彰対象数)	繁殖年	月	日
1	上野	ヒメハリテンレック	人工	1	2005	7	4
2	上野	ハリテンレック	自然	1	2010	4	30
3	名護	アオコブホウカンチョウ	人工	1	2006	5	2
4	上野	スバルバルライチョウ	人工	1	2010	6	22
5	横浜動	カンムリセイラン	人工	1	2007	4	5
6	横浜動	オオミカドバト	人工	1	2009	5	12
7	埼玉動	カルカヤインコ	自然	2	2010	9	13
8	安佐	ミヤコドリ	人工	1	2010	7	16
9	鳥羽	ジョフロアカエルガメ	自然	5	2009	10	27
10	越前	アオウミガメ	人工	6	2010	8	30
11	沖縄こ	オキナワキノボリトカゲ	人工	1	2010	6	27
12	小樽水	キタサンショウウオ	自然	9	2010	5	2
13	安佐	ナゴヤダルマガエル	自然	25	2005	6	8
14	上野	ウルワシアデガエル	自然	10	2010	4	23
15	沖縄水	オオテンジクザメ	自然	4	2006	1	16
16	埼玉水	ヌマムツ	自然	300	2010	6	20
17	小樽水	エゾトミヨ	人工授精	16	2010	5	28
18	小樽水	フウセンウオ	自然	14	2009	5	1
19	葛西水	ファインスポットド ジョーフィッシュ	自然	32	2009	12	2
20	海中水	フサギンポ	自然	87	2010	6	11
21	下関	クモギンポ	自然	1	2010	2	2
22	下関	ジュウジキサンゴ	自然	3	2010	9	17
23	城崎	ベリルイソギンチャク	自然	106	2010	7	24
24	新潟	カブトクラゲ	自然	20	2010	5	8
25	城崎	ゴトウヤドカリ	自然	1	2009	12	26
26	岐阜水	サワガニ	自然	12	2010	8	

### 3. 古賀賞（繁殖特別表彰）

該当者なし

#### （四）安全衛生対策研究

##### 1. 事故防止、衛生対策を行った。

ア 事故事例集の作成

イ カエルツボカビ症の検査

ウ 感染症ハンドブックにおける症例集の拡充

##### 2. 第23回大型動物麻酔研究会開催

(1) 日 時 平成23年9月21日(水)13:00～16:30

(2) 場 所 岩手県盛岡動物園 動物資料館2階レクチャールーム

(3) 出席者 構成園13園、オブザーバー2園 合計15園より21名参加

##### (4) 研究発表

- 1) 1年間の使用報告（エランド、シマウマ）—群馬 2) ハートマンシマウマにおけるM99使用例—上野 3) M99使用例報告2010（グレービーシマウマ）—多摩 4) チャップマンシマウマでの使用例報告—とべ 5) グラントシマウマの使用例報告—安佐

(5) 懇談事項 1) 日動水誌への研究報告（第3報） 2) 加盟構成園の研究会への参加依頼 3) M99の手引き（金沢動物園作成）のDVD化 4) 薬品の入手希望の確認 5) 今後の研究会での発表 6) M99の使用目的の再確認 7) 試験データ実施園について

(6) 次期開催地 平成24年度 東京都恩賜上野動物園

平成25年度 東京都多摩動物公園

平成26年度 千葉市動物公園

##### 3. 安全衛生部会・感染症対策委員会の開催

##### (1) 第1回安全衛生部並びに感染症対策委員会合同会議開催

1) 日 時 平成23年8月29日(月)13:00～17:00

30日(火) 9:00～15:00

2) 場 所 東京都恩賜上野動物園会議室

3) 出席者 安全衛生部：福田部長、向井、片井、長谷川、南、高田各委員  
感染症対策委員会：橋崎委員長、福田、長谷川、高橋各副委員長、  
向井、南、高田、寺沢、香山、中村各委員

4) 議 題 1) 動物園等における高病原性鳥インフルエンザ対策検討調査について 2) その他

##### (2) 第2回安全衛生部ならびに感染症対策委員会合同会議開催

1) 日 時 平成24年3月6日(火)、7日(水)

2) 場 所 宮崎市フェニックス動物園 会議室

3) 出席者 安全衛生部：橋川担当理事、向井、片井、長谷川、高田各委員

感染症対策委員会；橋崎委員長、長谷川、高橋各副委員長、向井、高田、寺沢、香山、中村各委員

- 4) 議 題 ①平成23年度事業報告について ②平成24年度事業計画及び予算案について ③口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ発生時の動物園における対応について（現地調査）④その他

## 第2. 教育活動・普及啓発に関する事業

動物園・水族館に関する教育活動・普及啓発事業を次のとおり実施した。

### 一 教育活動に関する事業

#### (一) 研修会の開催

##### (一の1) 全国研修会の開催

#### 1. 動物園・教育事業－参加型研修会（ワークショップ）開催

- 1) 日 時 平成24年2月21日(火)～22日(水)
- 2) 場 所 長崎バイオパーク
- 3) 出席者 19園館26名、教育部1名、
- 4) テーマ 小学校低学年を対象とした「動物とのふれあい」を活かした教育プログラム
- 5) 内 容 非公開ホームページに経過報告を掲載する

#### 2. 水族館・教育事業－参加型研修会（ワークショップ）開催

- 1) 日 時 平成23年11月30日(水)～12月1日(木)
- 2) 場 所 島根県立宍道湖自然館  
(会場 島根県立青少年の家 サン・レイク)
- 3) 出席者 17園館21名、教育部1名
- 4) テーマ 「紙芝居で伝えよう！〇〇の一日」  
講師（ファシリテーター） 鎌田暢子（絵本作家）  
(詳細は別途非公開HPに掲載する)

##### (一の2) ブロック内研修会の開催

#### 1. 動物園飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備 考
北海道	旭 山	23. 12. 13～14	9園館18名	水族館と合同 (施設安全管理担当者会議併催)
関東東北	宇都宮	24. 2. 27	18園館34名	
中 部	石 川	23. 6. 21～22	22園館24名	(飼育技術者研修会)
近 畿	淡 路	23. 6. 22	9園館18名	
中国四国	のいち	24. 1. 26～27	9園館16名	(飼育技術者研究会)
九州沖縄	フェニ	23. 7. 8～ 8	19園館39名	(水族館と合同の技術者講習会)

#### 2. 水族館飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備 考
-------	------	-------	-----	-----

北海道	サンピ	23. 5. 24	9園館18名	動物園と合同
関東東北	加茂	24. 2. 28	13園館20名	
中部	モンキ	24. 2. 1～2	26園館35名	(飼育技術者研修会)
近畿	白浜	23. 6. 28～29	9園館21名	
中国四国	玉野	24. 3. 7～8	7園館19名	

## (二) 飼育技師資格認定試験の実施

### 1. 第40回飼育技師資格認定試験

(1) 日 時 平成24年2月15日(水) 13:00～15:00

(2) 場 所 23園館の試験場で全国一斉

(3) 受験者

区 分	申込者	当日欠席者	受験者
動物飼育の部	184名	1名	183名
水族飼育の部	106名	2名	104名
計	290名	3名	287名

### (4) 試験結果

区 分		動物飼育	水族飼育	計	率
採 点 区 分	70点以上合格	174	99	273	95.1%
	69～50点	5	4	9	3.1%
	49点以下	4	1	5	1.8%
	失格	0	0	0	0.0%
平均点		85.0点	87.3点	85.8点	
最高点		100点(2名)	99点(2名)		
最低点		12点(1名)	33点(1名)		

## (三) 新・飼育ハンドブック

第5集動物園編を発行

## (四) 海外研修

平成23年度は実施しなかった。

## (五) 運営委員会教育部会の開催

### (1) 平成23年6月17日(金)部会開催

1) 場 所 日動水協事務所

2) 出席者 教育部：西田担当理事、植田部長、勝俣、石原、榊原、佐藤、生駒  
各部員

3) 議 題 I ルーチンワークについて①研究会・研修会の派遣担当と準備進捗  
等 ②飼育技師資格認定試験問題作成

II 検討事業の進捗について①動物名検討委員会 ②ハンドブック(改

訂)編集委員会 ③海外研修(実施方法見直し)の件 ④参加型研修会の開催マニュアル(作成)の件

Ⅲ懸案事項について①繁殖表彰に係る諸問題と規定見直しについて  
②参加型研修会のファシリテーターに関する要件について

Ⅳ. 教育部の再編と新しい部の設置について①これまでの検討内容の振り返り ②理事会・総会での動き ③今後に向けて一作業方針

(2) 平成23年9月16日(金)、17日(土) 部会開催

1) 場 所 鴨川シーワールド

2) 出席者 教育部：西田担当理事、植田部長、生駒、勝俣、堀、石原、榊原、佐藤各部員

3) 議 題 ①平成23年度飼育技師資格認定試験問題について ②教育部所管業務の進捗について ③その他

(3) 平成23年10月14日(金)教育部幹部会開催

1) 場 所 日動水協事務所

2) 出席者 教育部：西田担当理事、植田部長、堀部員

3) 議 題 ①平成23年度問題集及び出題問題について ②教育部関連のPC内情報と今後の運用について ③その他

(4) 平成24年2月24日(金)、25日(土) 部会開催

1) 場 所 日動水協事務所

2) 出席者 教育部：西田担当理事、植田部長、生駒、勝俣、堀、石原、榊原、佐藤各部員

採点協力：多摩・永井、千葉・高橋、各協力委員

3) 議 題 24日：①飼育技師資格認定試験答案の採点及び合否判定案の作成、講評等付帯事項の検討 ②その他

25日：①平成23年度事業の進捗状況 ②教育部事業懸案事項 ③その他

(5) 平成23年11月8日(火) 新・飼育ハンドブック改訂編集委員会開催

1) 場 所 東京都恩賜上野動物園・会議室

2) 出席者 動物園編；堀統括委員、大橋、村井、坂本各委員  
水族館編；植田統括委員、星野委員

3) 議 題 ①新・飼育ハンドブック改訂について ②その他

(6) 平成24年2月25日(土) 新・飼育ハンドブック編集会議開催

1) 場 所 日動水協事務所

2) 出席者 教育部：西田担当理事

動物園編；堀統括委員、大橋、村井、坂本各委員

水族館編；植田統括委員、星野委員

3) 議 題 ①前回までの打ち合わせ作業の進捗状況 ②前回会議で検討できなかった改訂部分について ③その他



## 二 普及啓発に関する事業

### 1. 事業概要の発行

- (1) 発行時期 平成23年9月発行
- (2) 体裁 A4 電子組版オフセット印刷 約70頁
- (3) 内容 ①協会の概要 ②事業の総括 ③役員及び専門委員 ④総会及び理事会 ⑤園館長協議会 ⑥研究発表会等 ⑦各種講習会等 ⑧運営委員会の活動 ⑨出版活動 ⑩種の保存に関する活動 ⑪飼育技師資格認定試験 ⑫動物愛護週間行事 ⑬各種の表彰 ⑭国際交流 ⑮ワシントン条約関連による緊急保護 ⑯動物情報センターの活動 ⑰動物情報センター基金の募集 ⑱野生動物保護募金事業 ⑲動物園水族館活用ネットワーク推進事業 ⑳平成23年度予算の概要  
付録（定款、日本動物園水族館協会倫理要綱、新入会員入会審査要綱、正会員・維持会員名簿、一般配布刊行物一覧）
- (4) 印刷部数 600部
- (5) 配布先 会員、関係官庁、関係団体、その他普及宣伝用に報道機関等

### 2. 全国動物園水族館月間

- (1) 期間 平成23年7月20日～8月19日
- (2) 行事 各園館において一般を対象に動物園・水族館の役割などについて講演会・講習会・サマースクール・特別展等を開催し、教育普及事業を推進した。

### 3. 飼育の日(4月19日)

各園館で飼育に関する各種催事を実施し、動物園水族館事業の普及啓発に努めた。

### 4. 動物愛護週間行事

- (1) 動物愛護に関する標語募集 (36回)
  - ① 趣 旨 動物愛護精神の普及啓発を図る。
  - ② 主催・後援 主催；(社)日本動物園水族館協会 後援；環境省
  - ③ 募集期間 平成23年7月1日～7月31日
  - ④ 実施方法 行事参加園館は期間中に募集し、優秀作品5点を中央審査会に提出。
  - ⑤ 中央審査 朝倉 勇(コピーライター)、中川李枝子(童話作家)、西山理行(環境省)、日動水協会長
  - ⑥ 応募点数 中央審査69園館340点(全国総応募数8,919点)
  - ⑦ 入選作品 イ. 環境大臣賞 1点(大阪市天王寺動植物公園事務所)  
「いてくれてありがとう げんきになったよ」  
ロ. 金賞 4点(東山、豊橋、鯖江、鹿児島)  
ハ. 銀賞 15点(埼玉水、フェニ、八木山、上野、松島、円山、とべ、宍道湖、茶臼山、姫路水、鴨川、岡崎動、

久留米、徳山、男鹿水)

- ⑧ 賞 品 入選者には賞状とメダル、選外者には参加賞(バッジ)
- ⑨ 表彰式 金賞以上の入選者5名は、動物愛護週間中央行事会場で表彰。
- ⑩ ポスター 入選作5点を各1,000枚印刷し、各園館他に配布。

## (2) 動物愛護週間中央行事

- ① 名 称 動物愛護ふれあいフェスティバル
- ② 日 時 平成23年9月17日（土）・23日（金）
- ③ 会 場 東京・上野恩賜公園内（噴水池前広場・恩賜上野動物園・東京国立博物館平成館）
- ④ 内 容 標語・ポスター等コンクールの表彰式、愛犬しつけ方教室、聴導犬演技、ペット写真展、動物ふれあい広場、動物相談コーナー、粘土コーナー、動物折り紙コーナー、動物フォトスタジオ、動物お絵描きコーナー、スタンプラリー等  
(※表彰式の一つとして、当協会の動物愛護に関する標語上位受賞者5名の表彰が行われた。)
- ⑤ 実行委員会構成団体 環境省、東京都、(財)日本動物愛護協会、(公社)日本動物福祉協会、(公社)日本愛玩動物協会、(社)日本獣医師会、(社)日本動物園水族館協会、(社)東京都家庭動物愛護協会、(社)日本新聞協会、(社)日本雑誌協会、(公財)東京動物園協会、台東区、上野観光連盟 等
- ⑥ 協会参加者 事務局職員

## 5. 情報ネットワーク事業

JAZAホームページの作成・更新、リニューアル、データベースの収集と蓄積、非公開ホームページ掲示板・会議室の運用、利用促進の相談、マニュアルの整備などネットワークの整備と運用の推進を図った。

### (1) 情報ネットワーク運営

- ① システム運用サーバーの保管・保守
  - ・ JAZAホームページの更新、リニューアル
  - ・ データベースのメンテナンス

### (2) 各種情報・資料の収集調査

- ① 希少動物保護増殖技術に関する情報・資料の収集調査
- ② 国際種情報機構（ISIS）との連携
- ③ 動物園水族館に関する情報・資料の収集整理

### (3) 内外文献資料の収集と整理及びその翻訳

- ① 内外動物園水族館に関する情報・資料の収集整理
- ② 海外文献資料の翻訳および日本の動物園水族館資料の海外への紹介

### (4) ネットワーク委員会開催

- 1) 日 時 平成23年11月14日（水）11：00～16：30
- 2) 場 所 東京都恩賜上野動物園・会議室
- 3) 出席者 情報部：川上担当理事、櫻井委員長、帝釈、生駒、向井、廣田、岩田、西本各部員  
オブザーバー参加：荻須事務局長、受託者：人見システムサイエンス代

表者

- 4) 議 題 ①公開ページについて ②非公開ページについて ③フェイスブックの活用について ④情報部との連携について ⑤その他

## 6. 広報事業

### (1) パンフレットの発行

当協会の日本語版・英語版パンフレットで海外を含め広く一般に協会の活動を紹介した。

### (2) 協会情報誌、加盟園館情報誌発行の監修

(株)百瀬製作所と提携し、百瀬製作所が編集・発行する当協会の情報誌を監修した。

#### ① 協会情報誌「どうぶつえんとすいぞくかん」

8頁／夏創刊号、以降季刊発行／各10万部／配布先：加盟園館ほか

#### ② 加盟園館情報誌「どうぶつのくに」

12頁／月刊発行／各10万部／配布先：加盟園館ほか

### (3) 広報戦略会議開催

#### ①第1回広報戦略会議開催

1) 日 時 平成23年7月27日(水) 9:30～14:00

2) 場 所 東京都東部公園緑地事務所別館2階

3) 出席者 外部委員：遠藤秀紀東京大学総合研究博物館教授、親泊素子江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授・学科長、数馬宏喜東京工芸大学非常勤講師、木下直之東京大学教授（欠席：海津ゆりえ文教大学国際学部国際観光学科准教授

顧問・会友：林 良博顧問、長井健生会友（欠席：小菅正夫会友）

執行部：山本茂行会長、土居利光副会長、荒井一利副会長

事務局(処務担当)：荻須哲三事務局長、西本奏子国際情報担当、三木智絵事務局員

4) テーマ 「動物園・水族館に未来はあるか～歴史と現状」

#### ②第2回広報戦略会議開催

1) 日 時 平成23年8月25日(木) 9:30～14:00

2) 場 所 東京都東部公園緑地事務所別館2階

3) 出席者 外部委員：遠藤秀紀東京大学総合研究博物館教授、数馬宏喜東京工芸大学非常勤講師、木下直之東京大学教授（欠席：親泊素子江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授・学科長、海津ゆりえ文教大学国際学部国際観光学科准教授）

顧問・会友：林 良博顧問、小菅正夫会友、長井健生会友

執行部：山本茂行会長、土居利光副会長、荒井一利副会長

事務局(処務担当)：荻須哲三事務局長、西本奏子国際情報担当、三木智絵事務局員

4) テーマ 「現在の課題」～動物園・水族館の内・外

③第3回広報戦略会議開催

1) 日 時 平成23年9月13日(火) 17:00～20:30

2) 場 所 東京都恩賜上野動物園・東園事務所3階会議室

3) 出席者 外部委員：遠藤秀紀東京大学総合研究博物館教授、数馬宏喜東京工芸大学非常勤講師、木下直之東京大学教授、親泊素子江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授・学科長、(欠席者；海津ゆりえ文教大学国際学部国際観光学科准教授)

顧問・会友：林 良博顧問、小菅正夫会友(欠席者；長井健生会友)

執行部：山本茂行会長、土居利光副会長、荒井一利副会長

事務局(処務担当)：荻須哲三事務局長、西本奏子国際情報担当、三木智絵事務局員

4) テーマ 「将来の動物園・水族館」ビジョン

④第4回広報戦略会議開催

1) 日 時 平成23年10月18日(火) 17:00～20:30

2) 場 所 東京都恩賜上野動物園・東園事務所3階会議室

3) 出席者 外部委員：遠藤秀紀東京大学総合研究博物館教授、数馬宏喜東京工芸大学非常勤講師、木下直之東京大学教授(欠席者；親泊素子江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授・学科長、海津ゆりえ文教大学国際学部国際観光学科准教授)

顧問・会友：林 良博顧問、小菅正夫会友、長井健生会友

執行部：山本茂行会長、土居利光副会長、荒井一利副会長

事務局(処務担当)：荻須哲三事務局長、三木智絵事務局員(欠席者；西本奏子国際情報担当)

4) テーマ 「情報発信、人材育成、協会の在り方」～園館と協会の在り方

⑤第5回広報戦略会議開催

1) 日 時 平成23年12月19日(月) 9:30～14:00

2) 場 所 東京文化会館・中会議室

3) 出席者 外部委員：遠藤秀紀東京大学総合研究博物館教授、親泊素子江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授・学科長、海津ゆりえ文教大学国際学部国際観光学科准教授、数馬宏喜東京工芸大学非常勤講師、木下直之東京大学教授

顧問・会友：林 良博顧問、小菅正夫会友、長井健生会友

執行部：山本茂行会長、土居利光副会長、荒井一利副会長

事務局(処務担当)：荻須哲三事務局長、西本奏子国際情報担当

4) テーマ 1) 第1回～第4回までの取りまとめ 2) その他

### 第3. 種保存に関する事業

種の保存に関する事業を次のとおり実施した。

## 一 種保存計画の推進

### 1. 種保存諸会議

#### (1) 第17回種保存会議開催

- 1) 日 時 平成23年11月24日(木)～25日(金)
- 2) 場 所 横浜・八景島シーパラダイス
- 3) 出席者 秋篠宮総裁殿下、会長(委員長)、副会長2名、種保存委員会事務局長、  
類別・技術委員および種別調整者等96園館183名、その他関係8団体18名、  
事務局2名
- 4) 議 題 内容については経過報告を非公開HPに掲載する。

#### (2) 第1回種保存委員会開催

- 1) 日 時 平成23年7月20日(水) 11:00～17:00
- 2) 場 所 東京都恩賜上野動物園・会議室
- 3) 出席者 山本委員長、土居、荒井両副会長、長谷川種保存事務局長、小松、  
橋川、桑原、成島、岩田各種保存事務局員、(橋川)、永井、林、大津、  
坂東、栗田、高見、高木、(桑原)、池谷各類別委員、竹田技術委員、荻  
須事務局長、三木事務局員  
(欠席：勝俣委員)
- 4) 議 題 ①類別報告 ②類別提案 A)ボルネオゾウの導入の件 B)A-Ark C)淡  
水魚関連 D)種別調整者委嘱に関する提案 E)CITES掲載種に関する情報提  
供依頼について他 F)技術部会アンケートについて ③第17回種保存会議  
(於 八景島)開催に関して ④種保存事業の改革について ⑤GSMP(国  
際種管理計画)候補種について ⑥環境省との連絡会議報告 ⑦その他  
A)JAZA個体群管理研修案 B)その他

#### (3) 第1回種保存委員会事務局会議開催

- 1) 日 時 平成23年7月2日(土) 10:00～17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 長谷川種保存事務局長、小松、橋川、桑原、長谷川、岩田各種保存事  
務局員、荻須事務局長、三木事務局員(欠席：成島SSCJ事務局員)  
13:00～14:00 八景島(奥津、小賀坂)
- 4) 議 題 1.種保存会議対応：①種保存会議日程について ②記念講演につい  
て ③キャッチコピーについて ④その他 2.種保存委員会：①類別報告  
について ②改革への対応について(種保存委員会への提案について) ③  
モデル事業について 3.環境省との連絡会議話題について ①第17回種保  
存会議に関する情報提供と参加依頼 ②モデル事業について(報告) ③域  
外保全のためのファウンダー導入について ④日本産両生類の域外保全種  
の検討について(AArkワークショップ報告より)

#### (4) 第2回種保存委員会事務局会議

- 1) 日 時 平成23年7月19日(火) 11:00～15:30
- 2) 場 所 日動水協事務所

- 3) 出席者 南知多・長谷川種保存委員会事務局長、大森山・小松、多摩・成島、東山・橋川、安佐・桑原、海中水・岩田各事務局員、荻須事務局長
- 4) 議 題 ①種保存委員会議事について ②環境省との連絡会議内容について  
③その他
- (5)種保存委員会事務局ならびに環境省との連絡会議開催
- 1) 日 時 平成23年7月19日(火) 16:00~18:00
- 2) 場 所 経済産業省庁舎・会議室
- 3) 出席者 土居、荒井両副会長、南知多・長谷川種保存事務局長、大森山・小松、多摩・成島、東山・橋川、安佐・桑原、海中水・岩田各種保存事務局員、荻須事務局長、三木事務局員  
環境省自然保護局 亀澤野生生物課長、堀内課長補佐、保護増殖係 中屋専門官、大林専門官、浪花係長、渡辺係員、条約法令係 荒牧課長補佐、高辻係員、鳥獣保護業務室 千葉係長、動物愛護管理室 西山室長
- 4) 議 題 日動水協からの話題提供：①第17回種保存会議の開催について(報告) ②種保存のためのJAZAのモデル事業化の検討について(報告) ③域外保全推進のための野生からのファウンダー導入について ④日本産両生類の域外保全種の検討について(報告) (A-Ark日本版)  
環境省からの話題提供：①国内希少野生動植物種の傷病個体の活用方法について ②絶滅のおそれのある野生動植物種の野生復帰に関する基本的な考え方(報告) ③動物愛護管理法の制度の見直しについて(報告) ④ペットに関する東日本大震災への対応について(報告) ⑤動物園等における鳥インフルエンザ対策について(報告)
- (6)第2回種保存委員会開催
- 1) 日 時 平成23年11月25日(金)
- 2) 場 所 横浜・八景島シーパラダイス
- 3) 出席者 山本委員長、土居、荒井両副会長、長谷川種保存事務局長、小松、橋川、桑原、成島、岩田各種保存事務局員、(橋川)、永井、林、勝俣、大津、坂東、栗田、高見、高木、(桑原)、池谷各類別委員、竹田技術委員  
環境省・亀澤野生生物課専門官、荻須事務局長、西本国際情報担当
- 4) 議 題 内容については追って経過報告を非公開HPへ掲載する
- (6)第3回種保存委員会事務局会議開催
- 1) 日 時 平成23年11月23日(水) 11:00~17:00
- 2) 場 所 横浜・八景島シーパラダイス
- 3) 出席者 長谷川種保存事務局長、小松、橋川、桑原、成島、岩田各種保存事務局員、荻須事務局長、西本国際情報担当
- 4) 議 題 ①種保存会議開催準備作業の打合せ ②種保存事業課題事項について

(7) 第4回種保存委員会事務局会議開催

- 1) 日 時 平成24年1月20日(金) 11:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 長谷川種保存事務局長、小松、橋川、桑原、成島、岩田各種保存事務局員、荻須事務局長、西本国際情報担当
- 4) 議 題 ①繁殖計画および行動計画について ② I 類および II 類の種の選定方法について ③今後のスケジュールについて ④種保存委員会内の連絡方法の確認 ⑤モデル事業について

2. 希少動物等血統登録及び長期繁殖計画の推進

- (1) 飼育下での累代繁殖による近親交配を避け、遺伝子の多様性を維持するため、希少動物種別調整対象種について血統登録を行い、繁殖計画をたてる(ただし、魚類に関しては血統登録・個体登録をしない)など長期繁殖計画を推進した。

平成23年度は次の147種を対象種として実施した(\*: 血統登録書の作成実施)。

有袋類・その他: (1) コアラ(東山) \* (2) ウオンバット(茶臼山) \* (3) フサオネズミカンガルー(上野) (4) パルマワラビー(シャボ) (5) オオカンガルー(横金沢) \* (6) オオアライクイ(日本平) \*

霊長類: (7) ニシゴリラ(上野) \* (8) ボルネオオランウータン(東山) \* (9) スマトラオランウータン(東山)\* (10) チンパンジー(多摩) \* (11) ボウシテナガザル(とべ) \* (12) シシオザル(天王寺) (13) フランソワルトン(浜松) \* (14) マンドリル(豊橋) \* (15) ダイアナモンキー(円山) \* (16) クロキツネザル(モンキ) \* (17) エリマキキツネザル(モンキ) \* マーモセット科 《(18) ピグミーマーモセット\* (19) ワタボウシパンシェ\*》(千葉) (20) スローロリス(上野) \*

食肉類: (21) ホッキョクグマ(旭山) \* (22) マレーグマ(のいち) \* トラ希少亜種 《(23) アムールトラ(王子)\* (24) ベンガルトラ(王子)\* (25) スマトラトラ(八木山)\*》 (26) ユキヒョウ(多摩) \* (27) チーター(南紀) (28) ウンピョウ(横浜動) ヒョウ希少亜種 《(29) アムールヒョウ\* (30) ペルシャヒョウ\*》(福山) (31) シセンレッサーパンダ(日本平)\* (32) ネパールレッサーパンダ(日本平) \* (33) カナダカワウソ(のいち)\* (34) ユーラシアカワウソ(のいち)\* (35) コツメカワウソ(のいち)\* (36) ツナメシカワウソ(のいち) \* (37) ツシマヤマネコ(福岡)

海獣類: (38) ラッコ(鳥羽)\* (39) カリフォルニアアシカ(油壺)\* (40) トド(小樽水)\* (41) オタリア(油壺)\* (42) ゴマフアザラシ(新江水)\* (43) ゼニガタアザラシ(小樽水) \* (44) セイウチ(鴨川) \* (45) バンドウイルカ(鴨川) \* (46) イロワケイルカ(松島) \* (47) スナメリ(宮島) \* (48) カマイルカ(沖縄水) \*

有蹄類: (49) クロサイ(安佐) \* (50) ミナミシロサイ(八木山) \* (51) インドサイ(横金沢) \* バク科全種 《(52) マレーバク\* (53) ブラジルバク\* (54) チュウバイバク\*》(横浜動) (55) グレビーシマウマ(京都) \* (56) ハートマンヤマシマウマ(夢見) \* (57) モウコノウマ(多摩) \* (58) アジアゾウ(上野) \* (59) ア



フリカゾウ（群馬）＊（60）カバ（富士動）（61）※ニホンカモシカ（富山）＊（62）キリン（多摩）＊（63）シロオリックス（盛岡）（64）アラビアオリックス（横金沢）＊

猛禽類：（65）コンドル（徳島）日本産猛禽類希少種《（66）オジロワシ（帯広）＊（67）オオワシ（円山）＊（68）ニホンイヌワシ（大森山）＊（69）シマフクロウ（鉤路）（70）カラフトワシミミズク（旭山）》（71）オオタカ（富山）＊（72）クマタカ（豊橋）＊

ペンギン類：（73）フンボルトペンギン（葛西水）＊（74）ケープペンギン（サンシ）＊（75）マゼランペンギン（品川水）＊（76）イワトビペンギン（油壺）＊（77）マカロニペンギン（下関）＊（78）ジェンツーペンギン（名港水）＊（79）オウサマペンギン（南紀）＊（80）アデリーペンギン（名港水）＊（81）ヒゲペンギン（名港水）＊（82）コガタペンギン（葛西水）＊

コウノトリ・キジ・ツル類：（83）※ニホンコウノトリ（多摩）＊（84）ホオアカトキ（横浜動）＊（85）※タンチョウ（多摩）＊（86）※マナヅル（埼玉動）（87）※ナベヅル（平川）＊ [国際登録担当・天王寺]（88）ソデグロヅル（多摩）（89）オグロヅル（上野）＊（90）ホオカザリヅル（上野）＊（91）ハゴロモヅル（安佐）＊（92）ヤンバルクイナ（名護）（93）シジュウカラガン（八木山）（94）コサンケイ（上野）＊（95）ヤマドリ全亜種（井の頭）＊

小型鳥類： カンムリバト属《（96）カンムリバト（97）ムネアカカンムリバト（98）オウギバト》（熊本）（99）オオバタン（埼玉動）（100）タイハクオウム（海中動）（101）シロビタイムジオウム（江戸川）（102）アカコンゴウインコ（埼玉動）（103）スミレコンゴウインコ（到津）＊（104）ヒワコンゴウインコ（埼玉動）（105）ミドリコンゴウインコ（シャボ）＊（106）オオサイチョウ（とべ）＊（107）サイチョウ（とべ）＊（108）カササギサイチョウ（とべ）＊（109）カンムリシロムク（横浜動）＊（110）ルリカケス（上野）

両生・爬虫類：（111）オオサンショウウオ（安佐）＊（112）ホクリクサンショウウオ（石川）（113）ハクバサンショウウオ（新潟）＊（114）イシカワガエル（天王寺）（115）イボイモリ（名護）＊（116）アルダブラゾウガメ（平川）＊（117）ホウシャガメ（京都）＊（118）ハミルトンガメ（野毛山）＊（119）インドセタカガメ（野毛山）＊（120）ヨウスコウワニ（天王寺）＊（121）ニシアフリカコガタワニ（安佐）＊（122）インドガビアル（熱川）＊（123）ガビアルモドキ（熱川）＊（124）リュウキュウヤマガメ（名護）＊（125）クロイワトカゲモドキ（名護）

魚類： 日本産希少淡水《（126）ミヤコタナゴ（井の頭）（127）ハリヨ（岐阜水）（128）ニッポンバラタナゴ（琵琶湖）（129）イタセンパラ（記念館）（130）イチモンジゼニタナゴ（琵琶湖）（131）スイゲンゼニタナゴ（姫路水）（132）ヒナモロコ（海中水）（133）ウシモツゴ（碧南）（134）アユモドキ（琵琶湖）（135）ネコギギ（志摩）（136）ムサシトミヨ（埼玉水）（137）ゼニタナゴ（福島水）（138）タナゴモドキ（沖縄水）（139）シナイモツゴ（新潟）（140）アカメ（お魚館）（141）エゾトミヨ（小樽水）（142）カワバタモロコ（碧南）（143）ホトケドジョウ（須磨）（144）オヤニラミ（宮島）》 外国産希少淡水魚《（145）アジアアロワナ（岐阜水）（146）ピラルク（鹿児島）（147）オーストラリアハイギョ（上野）》

(2) 希少動物飼育ハンドブックの作成

チーター種別繁殖検討委員会が中心となり、チーターの飼育ハンドブックを作成した。

3. 個体群管理研修

(1) 個体群管理研修初級編開催

- 1) 日 時 平成23年11月26日(土)9:30~16:00
- 2) 場 所 横浜八景島シーパラダイス; ホテルシーパラダイスイン会議室
- 3) 出席者 種別調整者 10名
- 4) 内 容 SPARKSの使い方

(2) 個体群管理研修中級編

- 1) 日 時 平成24年1月25日(水)11:00~17:00
- 2) 場 所 名古屋市東山動物園
- 3) 出席者 種別調整者 15名程
- 4) 内 容 PM2000の使い方

(3) PM<sub>x</sub>を用いた個体群管理研修会開催

- 1) 日 時 平成24年2月7日(火)~10日(金)
- 2) 場 所 恩賜上野動物園会議室、東京都東部公園緑地事務所
- 3) 出席者 国際血統登録者等
- 4) 内 容 PM<sub>x</sub>の使い方

二 海外団体との協力

(1) 保全繁殖専門家集団(CBSG)との提携

- ① CBSG中間理事会(4/5~6 スイス・グラン)への参加  
出席者; 西本国際情報担当
- ② CBSG年次総会(9/29~10/2 チェコ・プラハ)への参加  
出席者; 荒井副会長、西本国際情報担当

(2) 国際種情報システム機構(ISIS)との連携

- ① 中間理事会(4/4 スイス・グラン)への参加  
出席者; 西本国際情報担当
- ② 理事会(10/1 チェコ・プラハ)への参加  
出席者; 西本国際情報担当

(3) 海外の動物園・水族館諸組織との連携

- ① WAZA CPM中間会議(4/2~3 スイス・グラン)への参加  
出席者; 西本国際情報担当
- ② WAZA年次総会(10/2~10/6 チェコ・プラハ)への参加  
出席者; 山本会長、荒井副会長、西本国際情報担当、(株)百瀬製作所・田井氏(広報記録担当)

#### (4) 情報部会開催

- 1) 日 時 平成24年1月27日(金)11:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 川上情報部担当理事、櫻井同部長、高橋、廣田、富田、栗田、高見  
各委員
- 4) 議 題 ①平成23年度事業の執行状況について ②その他

### 三 野生動物保全に関する事業

#### 1. 東日本大震災による原発事故の警戒区域内の家畜の継続飼育についての国への要望

当協会は、次に団体と連名で平成23年23日付内閣総理大臣あてに要望書を提出した。

団体名；日本学術会議副会長・日本獣医師会会長・全国獣医学会関係大学代表者協議会会長・食と地域の「絆」づくり有識者会議座長・日本動物園水族館協会会長

#### 2. 環境省動物園等鳥インフルエンザ対策検討会開催

##### (1) 第1回検討会

- ①日 時 平成23年6月28日(火) 午後1時から午後3時まで
- ②場 所 東京都東部公園緑地事務所別館2階
- ③出席者 林 良博(山階鳥類研究所長)、西藤岳彦(動物衛生研究所ウィルス・疫学研究領域長補佐)、村田浩一(日本大学教授、横浜市立よこはま動物園園長)、橋崎文隆(日動水感染症委員会委員長)  
その他環境省4名、農林水産省1名、文部科学省2名、厚生労働省1名
- ④議 題：今後の動物園動物の鳥インフルエンザ対策の提言など  
飼育鳥に関する鳥インフルエンザ対応の指針の項目等

##### (2) 第2回検討会

- ①日 時 平成23年9月10日(土) 10:00~12:00
- ②場 所 東京都恩賜上野動物園・東園事務所3階会議室
- ③出席者 林 良博(山階鳥類研究所長)、西藤岳彦(動物衛生研究所ウィルス・疫学研究領域長補佐)、村田浩一(日本大学教授、横浜市立よこはま動物園園長)、橋崎文隆(日動水感染症委員会委員長)、山口剛士(鳥取大学教授、日本獣医師会野生動物対策委員会委員)、米田久美子(財団法人自然環境研究センター研究主幹)、山本茂行(社団法人日本動物園水族館協会会長)  
その他環境省3名、農林水産省1名、文部科学省2名、厚生労働省1名
- (4) 議 題 1)飼育鳥に関する鳥インフルエンザ対応の指針案について2) その他

### 四 野生動物保護募金事業

野生動物保護募金は、野生動物の保護活動に資するため平成12年に当協会が独自

に創設した募金制度で、広く入園館者などからいただいた寄付金をもとに、野生動物の保護繁殖に寄与する活動に対し積極的に支援する助成事業を行った。

## 1. 募金事業

### (1) 事業の概要

- ①募金の名称 野生動物保護募金
- ②募金箱設置 日動水協会員園館 総数 135園館、156個（2012.3末現在）
- ③募金の状況 5,024,200円

## 2. 助成事業

番号	助成額	件名・事業内容	申請者(推薦者)
1	300,000	エゾクロテンおよびエゾタヌキの繁殖生理に関する生態研究	旭川市旭山動物園長
2	500,000	動物園と野生動物の生息地を繋ぐ～体験型野生動物保護セミナーの開催	横浜市立金沢動物園長
3	500,000	飼育下ホッキョクグマの妊娠診断法の確立に向けた研究	岐阜大学 応用生物科学部
4	450,000	グレービーシマウマの個体群維持	京都市動物園長
5	210,000	海外への情報発信モデル事業	日本動物園水族館協会 副会長
6	500,000	スパールバルライチョウの飼育下繁殖に関する研究	ライチョウ域外保全会議
7	300,000	魚類類別委員会 日本産希少淡水魚繁殖検討委員会 発足20周年記念イベント	岐阜県世界淡水魚園水族館長

### 助成対象

- ①会員園館が行う野生動物保護事業
- ②当協会運営委員会各部が行う野生動物保護事業
- ③当協会種保存委員会が行う種保存事業
- ④会員園館の事業と関係する団体が行う野生動物保護活動事業
- ⑤非常災害時の野生動物救護活動

### 3. 優先種等助成事業

決定額	優先種	申請者(推薦者)	内容
409,000円	ツシマヤマネコ	食肉類別委員 林 輝昭	1. 糞中ホルモンの測定 2. ツシマヤマネコ繁殖生理研究会開催
210,000円	ミナミシロサイ	有蹄類類別委員 大津 晴男	1. 糞便中の雌性ホルモン代謝産物の同定 2. メス全頭の排卵周期の有無を判定 3. 繁殖を目的とした国内移動計画をメスの排卵の有無を考慮し作成する
106,000円	フンボルトペンギン	ペンギン類別委員 栗田 正徳	遺伝的な近縁関係の解明のため飼育個体から採血し、DNA解析を行う
275,000円	テナガザル類	霊長類類別委員 永井 清	シロテテナガザルを対象として、糞を採集してDNAを抽出する。抽出したDNAをPCR増幅し、シーケンシングによって塩基配列を決定する

助成対象 種保存対象種の中から決定した優先種及び技術部会事業

### 五 受託保全事業

#### 1. ワシントン条約に基づき任意放棄され、取得した生きた動物に係る保護及び飼育の寄託管理

- (1) 寄託者 経済産業省貿易経済協力局貿易管理部貿易審査課
- (2) 実施時期 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで(継続)
- (3) 受託内容
- ・経済産業省はワシントン条約に基づき任意放棄され取得した生きた動物の保護及び飼育を日動水協に寄託する。
  - ・日動水協は委託動物の飼育管理を適切な会員園館に依頼する。
  - ・経済産業省は日動水協に対し19,856,429円(平成23年度)の限度内において寄託動物の保護飼育に必要な経費を負担する。
- (4) 実施結果 平成23年度中に新たに経済産業省から寄託された動物は次のとおり。

No.	動物名	数量	到着地	収容年月日	収容園館名
1	タランチュラ	1	関西空港	2011年 4月 5日	榎原
2	ミズタマサンゴ	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
3	コエダナガレサンゴ	2	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
4	ナガレハバサンゴ	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
5	キクメイシ科の一種	2	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
6	クサビライシ科の一種	2	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
7	オオトゲサンゴ科の一種	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
8	イシサンゴ目の一種	4	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
9	イソギンチャクモドキ科の一種	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
10	ウミツダ科の一種	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
11	ウミトサカ科の一種	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
12	チジミトサカ科の一種	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
13	オオハナガタサンゴ	1	関西空港	2011年 8月 3日	海遊館
14	ホホアカセダカガメ	1	中部空港	2011年 9月16日	東山
15	ジャノメイシガメ	2	成田空港	2011年12月 6日	野毛山
16	ヒラセガメ	1	成田空港	2011年12月 6日	野毛山
17	モエギハコガメ	1	成田空港	2011年12月 6日	野毛山
18	インプレッサームツアシガメ	1	成田空港	2011年12月 6日	野毛山

25点

(5) 合計	(収容園館数)	(種数)	(点数)
平成22年度より引継いだ受託動物	72	119	927
平成23年度中に発生した受託動物	4	18	25
平成23年度中に死亡した受託動物	31	40	103
平成24年度に引継いだ受託動物	68	113	849

\* 点数の内訳：哺乳類 82. 鳥類 60. 爬虫類 682. 両生類 1. 魚類等 24.

## 2. 生息域外保全モデル事業(動物)実施業務

平成22年度に引き続き、平成23年度も財団法人自然環境研究センターから受託し、野生復帰を念頭に置いた絶滅の恐れのある野生動物種の生息域外保全各種動物モデル事業を実施した。

- ① 対象種      ハリヨ、イチモンジタナゴ
- ② 実施施設    滋賀県立琵琶湖博物館

## 第4. 支援に関する事業

### 1. 東日本大震災(23. 3. 11)被災園館への緊急支援

平成23年3月11日に発災した東北地方太平洋沖地震に対する対応として、(1)被害状況の把握、(2)被災した動物園・水族館の要望に応える緊急支援活動として、①飼料の緊急輸送、②被災動物の保護移送を行い、併せて(3)義援金の募金活動を開始し、引き続き、平成23年度も支援活動を行うとともに被災園館

への見舞金の分配も行った。これらの情報は、随時ホームページに掲載した。

義援金集約状況(平成24年3月31日現在)

件数	日本	1,141件	35,675,637円		
	海外	36件	21,488,952円	計	1,177件 57,164,589円

#### (1) 東日本大震災被災動物園水族館会議開催

被災動物園水族館が復旧・復興を検討するにあたり、日動水協への支援要望と日動水協が対応可能な協力についての情報交換を行う目的で、次のとおり開催した。

##### ①第1回会議

1) 日 時 平成23年4月20日(水) 13:00~15:00

2) 場 所 仙台市八木山動物公園

3) 出席者 被災園館(仙台以北): 大森山・小松園長、盛岡・辻本園長、八木山・遠藤園長、松島水・西條館長

日動水協: 山本会長、荒井副会長、鈴木関東東北ブロック代表理事、川上情報部担当理事、荻須事務局長、(株)百瀬製作所・田井氏(広報記録担当)

##### ②第2回会議

1) 日 時 平成23年4月27日(水) 13:00~15:00

2) 場 所 日立市かみね動物園

3) 出席者 被災園館(福島以南): かみね・生江園長、桐生・小暮園長、福島水・久保木副館長、福島水・薦田復興事業部長、大洗・河原井館長、大洗・稲葉副館長

日動水協: 山本会長、土居副会長、荒井副会長、鈴木関東東北ブロック代表理事、川上情報部担当理事、荻須事務局長、(株)百瀬製作所・田井氏(広報記録担当)

#### (2) 東日本大震災見舞金分配委員会開催

##### ①第1回委員会

1) 日 時 平成23年6月22日(水) 14:00~16:00

2) 場 所 上野・東京文化会館会議室

3) 出席者 外部委員: 樋口隆昌委員(WWFジャパン事務局長)、大橋民恵委員(市民ZOOネットワーク代表理事)、白井康夫委員(白井康夫会計事務所税理士)

内部委員: 山本茂行委員長(会長)、土居利光副委員長(副会長)、荒井一利委員(副会長)、鈴木倫明委員(関東東北ブロック代表理事)

日動水協事務局: 荻須事務局長、三木事務局員

4) 議 事 (1) 要綱および今後の予定の確認 (2) 震災後の各園館の被害状況とJAZAの対応に関する報告(資料) 1) 被災園館への緊急飼料輸送について(初期支援) 2) 被災園館からの飼育動物緊急保護収容について(初期

支援) 3)各園館の被害状況について (3)各園館からの要望事項について(資料) (4)協議 (5)その他

## ②第2回委員会

- 1)日 時 平成23年7月27日(水) 15:00~16:00
- 2)場 所 上野・東京都東部公園緑地事務所別館2階
- 3)出席者 外部委員:樋口隆昌委員(WWFジャパン事務局長)、大橋民恵委員(市民Z00ネットワーク代表理事)、白井康夫委員(白井康夫税理士事務所税理士)  
内部委員:山本茂行委員長(会長)、土居利光副委員長(副会長)、荒井一利委員(副会長)、鈴木倫明委員(関東東北ブロック代表理事)  
日動水協事務局:荻須事務局長、三木事務局員
- 4)議 事 (1)被災園館の見舞金要望の確認 (2)緊急支援園館の経費要望の確認 (3)配分対象・配分基準の決定 (4)6月末までの見舞金配分額の決定 (5)配分時期・配分方法の決定 (6)その他

## II 法人の管理

### 第1. 新入会員の調査

「あわしまマリンパーク」新入会員の調査を行った。

### 第2. 運営管理に関する会議

#### 1. 平成23年度通常総会並びに協議会開催

- (1)日 時 平成23年5月19日(木)~20日(金)
- (2)場 所 沖縄美ら海水族館 ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート
- (3)出席者 総裁殿下、99園館132名、会友3名、協力会員1団体4名、事務局3名、その他出席者15名
- (4)記念講演 「海が育んだ動物達—生物多様性域外保全の長期戦略」  
東京農業大学農学部教授 (財)山階鳥類研究所所長 林 良博
- (5)講演  
講演1 「博物館のリスクマネジメント」  
文部科学省大臣官房審議官 伊藤 洋一  
講演2 「絶滅のおそれのある野生動植物種の野生復帰に関する基本的な考え方」について  
環境省自然環境局野生生物課長 亀澤 玲治  
講演3 「水産物の放射性物質モニタリングの実施について」  
水産庁増殖推進部参事官 中山 一郎
- (6)課題講演  
講演1 「大震災 超えて進もう動物園と水族館—キーワードは“つながり”—」  
富山市ファミリーパーク園長 山本 茂行



講演2 「母なる海は地球の命～3つの地球規模の繋がり」

大阪海遊館長 西田 清徳

(7)ブロック課題講演 「新施設、新企画紹介」

1) 北海道ブロック

「恩返しプロジェクト (Vol.1) ボルネオへ恩返しの取組み経過について」

旭川市旭山動物園長 坂東 元

2) 関東東北ブロック

「フンボルトペンギン生態園について」

埼玉県こども動物自然公園長 日橋 一昭

3) 中部ブロック

「フライングメガドーム」「は虫類館」

静岡市立日本平動物園長 海野 隆至

4) 近畿ブロック

「姫路市立水族館リニューアルの概要について」

姫路市立水族館長 市川 憲平

5) 中国四国ブロック

「プロジェクトワイルドの紹介」

広島市安佐動物公園長 大丸 秀士

6) 九州沖縄ブロック

「ふれあいペンギンビーチ紹介」

長崎ペンギン水族館長 楠田 幸雄

(8)技術研究表彰講演

1) 「飼育下オウサマペンギンの性別および繁殖ステージに関する血液化学値の変動」

大阪海遊館魚類環境展示チーム係長 伊東 隆臣

2) 「相模湾湯河原沖で捕獲された雌のメガマウスザメー内部形態および寄生虫ー」

京急油壺マリンパーク館長 樺澤 洋

(9)震災報告講演

1) 東日本大震災報告

仙台市八木山動物公園長 遠藤源一郎

2) アクアマリンふくしまの復興にむけて

アクアマリンふくしま館長 安部義孝

(10)海外報告講演

1) CBSGIMP Meetig 個体管理群管理の集中強化に関するワークショップ  
参加報告

大阪市天王寺動植物公園事務所 高見一利

2) 国際報告

日動水事務局国際種情報担当 西本奏子

## 2. 理事会

### (1) 平成23年度第1回理事会開催

- 1) 日 時 平成23年5月18日(木) 13:00~17:00
- 2) 場 所 沖縄美ら海水族館 ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート
- 3) 出席者 理事15名 その他出席者: 監事2名、事務局1名 (欠席: 理事1名)

### (2) 平成23年度第1回臨時理事会(表面理事会)開催

- 1) 日 時 平成23年7月11日(月)
- 2) 表決者 理事16名 その他表決者: 監事2名

### (3) 平成23年度第2回臨時理事会開催

- 1) 日 時 平成23年9月22日(水)12:30~16:00
- 2) 場 所 東京・小石川後樂園涵徳亭
- 3) 出席者 理事13名、その他出席者: 監事2名、事務局1名 (欠席: 理事3名)

### (4) 平成23年度中間理事会開催

- 1) 日 時 平成23年11月29日(火)11:00~17:00
- 2) 場 所 東京文化会館
- 3) 出席者 理事14名、その他出席者: 監事2名、事務局1名 (欠席: 理事2名)

### (5) 平成23年度第2回理事会開催

- 1) 日 時 平成24年3月5日(金) 11:00~17:00
- 2) 場 所 東京文化会館
- 3) 出席者 理事13名 その他出席者: 監事2名、事務局2名 (欠席: 理事3名)

### (6) 平成23年度第3回臨時理事会(表面理事会)開催

- 1) 日 時 平成24年3月31日(土)
- 2) 表決者 理事16名 その他表決者: 監事2名

## 3. 運営委員会

### (1) 運営委員会ならびに種保存委員会との合同会議開催

- 1) 日 時 平成23年11月28日(月) 11:00~17:00
- 2) 場 所 東京文化会館
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、小田、西田、小林、川上各部担当理事、植田、福田、櫻井各部長、長谷川種保存委員会事務局長、小松種保存委員会事務局員、荻須事務局長 (欠席: 田畑総務部長)
- 4) 議 題 ①事業報告並びに次年度事業計画、予算骨格案を策定

### (2) 総務部会開催(その他の部会は、I 公益目的事業に掲載)

- 1) 日 時 平成23年7月22日(金)13:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 小田担当理事、田畑部長、毛利、黒邊、帝釈、砂田、田中各部門員、荻須事務局長
- 4) 議 題 ①会員区分の見直しについて ②資格継承について ③倫理委員会のあり方について ④公益法人移行への現状について ⑤その他

#### 4. 三役会議

##### (1) 第1回三役会議開催

- 1) 日 時 平成23年4月7日(木) 13:00~18:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、北村専務理事、  
荻須事務局長
- 4) 議 題 ①JAZAの組織改革などの課題協議 ②事務局改革について ③その他

##### (2) 第2回三役および事務局会議開催

- 1) 日 時 平成23年5月11日(水) 13:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、北村専務理事、  
荻須事務局長
- 4) 議 題 ①平成23年度第1回理事会および通常総会運営について

##### (3) 第3回三役会議開催

- 1) 日 時 平成23年5月12日(木) 10:00~12:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、北村専務理事、  
荻須事務局長
- 4) 議 題 ①事務局運営について

##### (4) 第4回三役および事務局会議開催

- 1) 日 時 平成23年5月30日(月) 9:30~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、北村専務理事、  
荻須事務局長、事務局職員
- 4) 議 題 ①専務理事業務の引き継ぎ事項 ②事務局業務改善 ③その他

##### (5) 第5回二役および事務局会議開催

- 1) 日 時 平成23年6月6日(月) 11:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、荻須事務局  
長、事務局職員
- 4) 議 題 ①事務局業務改善 ②その他

##### (6) 第6回二役および種保存委員会事務局会議開催

- 1) 日 時 平成23年6月7日(火) 11:00~17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、長谷川種保  
存委員会事務局長、小松、成島、橋川、桑原、各種保存委員会事務  
局員(欠席:岩田委員) 荻須事務局長、西本国際情報担当、事務局

職員

- 4) 議 題 ①国際対応について A) JAZAの国際対応の現状ほかについて B) 海外の血統登録の現状システムと日本の問題について ②野生動物保護募金および優先種助成事業の方針について ③WAZA・CPMへの提案ほか ④モデル事業について ⑤SSCJの組織構造について
- (7) 第7回二役会議（事務局から会長への事務報告会）開催
- 1) 日 時 平成23年8月23日（火）13:30～15:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、荻須事務局長
- 4) 議 題 ①事務局業務進捗報告 ②予算執行報告 ③その他
- (8) 第8回二役会議（事務局内会議）開催
- 1) 日 時 平成23年8月24日（水）9:30～10:30
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、荻須事務局長、事務局員
- 4) 議 題 ①8月1日事務局内会議決定事項の進捗状況確認 ②遅延事項の問題とその対策について③その他
- (9) 第9回二役会議（事務局内会議）開催
- 1) 日 時 平成23年8月24日（水）10:30～17:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、荻須事務局長
- 4) 議 題 ①臨時理事会までの検討②臨時理事会議題③その他
- (10) 第10回二役会議開催
- 1) 日 時 平成23年10月18日（火）11:00～15:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、長谷川種保存委員会事務局長、岩田種保存委員会事務局員、三木事務局員、西本国際情報担当  
荻須事務局長
- 4) 議 題 ①種保存委員会業務の引き継ぎについて ②その他
- (11) 第11回二役会議開催
- 1) 日 時 平成23年11月4日（金）10:00～14:00
- 2) 場 所 日動水協事務所
- 3) 出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、荻須事務局長
- 4) 議 題 ①新事務局事務分担について ②その他
- (12) 第12回二役会議開催
- 1) 日 時 平成24年1月27日（金）9:30～14:30

- 2)場 所 日動水協事務所  
 3)出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、荻須事務局長  
 長谷川種保存委員会事務局長  
 4)議 題 ①今後の協会・事務局改革について ②種保存事業について ③その他

(13) 第13回二役会議開催

- 1)日 時 平成24年3月22日(木) 11:00～17:00  
 2)場 所 日動水協事務所  
 3)出席者 山本会長、土居、荒井両副会長、長井アドバイザー、橋川安全衛生部担当理事、小田総務部担当理事、川上情報部担当理事、長谷川種保存事務局長、荻須事務局長  
 4)議 題 ①総会に向けての運営委員会、種保存委員会事務局の運営について  
 ②その他

6. ブロック開催会議

(1) ブロック園館長会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備 考
北海道	登 別	23. 4. 12～13	10園館12名	
〃	ノシブ	23. 10. 25～26	11園館11名	
関東東北	かみね	23. 10. 19～20	35園館42名	
〃	サンシ	24. 2. 20～21	41園館48名	
中 部	能登島	23. 10. 26～27	24園館26名	
〃	浜 松	24. 2. 7～ 8	25園館28名	
近 畿	姫セン	23. 9. 28～29	20園館26名	
〃	姫路水	24. 2. 16～17	20園館24名	
中国四国	宍道湖	23. 4. 19～20.	18園館20名	
〃	宮 島	23. 11. 7. ～8.	18園館20名	
九州沖縄	到 津	23. 4. 14. ～15.	17園館18名	
〃	大 分	23. 10. 20. ～21.	17園館17名	

(2) 事務主任者会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備 考
関東東北	葛西水	23. 10. 20～21	32園館35名	※北海道ブロックと合同
中 部	シャボ	23. 11. 16～17	14園館17名	
近 畿	志 摩	23. 10. 3	14園館19名	
中国四国	秋吉台	23. 6. 27～28	12園館18名	
九州沖縄	海中水	23. 10. 28～29	14園館14名	

## Ⅱ. 処 務 の 概 要

### 1. 総裁に関する事項

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
総 裁	秋篠宮文仁親王殿下	63.5.25	

### 2. 役員に関する事項

平成24年3月31日現在

No.	役職	氏 名	就任年月日	現 職	手 当	担当職務	最初の就任年月日
1	理事	山本 茂行	22.6.1	富山市ファミリーパーク園長	無	会長	18.6.1
2	〃	土居 利光	22.6.1	東京都恩賜上野動物園長	〃	副会長	22.6.1
3	〃	荒井 一利	22.6.1	鴨川シーワールド館長	〃	副会長	20.6.1
4	〃	小田 誠	22.6.1	小樽水族館長	〃	北海道ブロック代表理事	19.6.1
5	〃	酒井 裕司	22.6.1	札幌市円山動物園長	〃		22.6.1
6	〃	鈴木 倫明	22.6.1	新潟市水族館マリニピア日本海館長	〃	関東東北ブロック代表理事	20.6.1
7	〃	川上 茂久	22.6.1	群馬サファリパーク園長	〃		22.6.1
8	〃	日橋 一昭	23.5.19	埼玉県こども動物自然公園管理事務所長	〃		23.5.19
9	〃	橋川 央	23.4.1	名古屋市東山動物園長	〃	中部ブロック代表理事	23.4.1
10	〃	長谷川修平	22.6.1	南知多ビーチランド館長	〃		22.6.1
11	〃	西田 清徳	22.6.1	大阪・海遊館館長	〃	近畿ブロック代表理事	22.6.1
12	〃	長瀬健二郎	22.6.1	大阪市天王寺動植物公園事務所 動物園長	〃		22.6.1
13	〃	絹田 俊和	22.6.1	高知県立のいち動物公園園長	〃	中国四国ブロック代表理事	22.6.1
14	〃	砂田 忠	22.6.1	島根県立しまね海洋館長	〃		22.6.1
15	〃	荻野洸太郎	22.6.1	かごしま水族館長	〃	九州沖縄ブロック代表理事	18.6.1
16	〃	山口 智士	22.6.1	長崎バイオパーク園長	〃		22.6.1
17	〃	欠 員				専務理事	
1	監 事	長谷川淳一	22.6.1	京都市動物園長	無		22.6.1
2	〃	鈴木 隆史	22.6.1	越前松島水族館長	〃		22.6.1

### Ⅲ 財 産 の 増 減

財産（各年度末現在）

（単位：円）

科 目 名	平成 23 年度	平成 22 年度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金	296,165	362,270	△30,105
普通預金	13,535,966	41,012,540	△27,476,574
定期預金	2,000,000	13,463,758	△11,463,758
振替預金	840,281	4,399,270	△3,558,989
郵便貯金	71,007	1,007	70,000
定額貯金	0	64,700	△64,700
未収会費	450,000	1,120,000	△670,000
未収金	1,372,518	1,005,144	367,374
前払金	749,770	635,371	114,399
有価証券	458,258	402,386	55,872
流動資産合計	19,773,965	62,430,446	△42,656,481
2. 固定資産			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0
振興資金積立金	7,000,000	7,000,000	0
退職給付引当資産	3,353,171	8,227,839	△4,874,668
古賀賞基金	7,982,950	7,982,950	0
新・ハンドブック改訂積立金	3,800,000	3,800,000	0
情報センター基金	102,093,600	102,093,600	0
野生動物保護募金	34,265,581	4,000,000	30,265,581
保証金（公益事業共通へ）	2,500,000	2,500,000	0
保証金交換 （情報センター基金へ繰入）	2,500,000	0	2,500,000
東日本大震災見舞金	253,392	0	253,392
電話加入権	145,600	145,600	0
固定資産合計	166,894,294	138,749,989	28,144,305
資産合計	186,668,259	201,180,435	△14,512,176
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	2,213,671	3,608,287	△1,394,616
前受金	3,350,000	3,112,442	237,558
2. 固定負債			
退職給付金	3,357,970	0	3,357,970
負債合計	8,921,641	6,720,729	2,200,912
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産	145,817,195	112,576,550	33,240,645
2. 一般正味財産	31,929,423	81,883,156	△49,953,733
正味財産合計	177,746,618	194,459,706	△16,713,088
負債及び正味財産合計	186,668,259	201,180,435	△14,512,176

## Ⅳ 社 員 の 異 動 状 況 等

### 1. 社員の異動状況書

区 分	23. 3. 31.	24. 3. 31.	増△減	摘 要
	現 在 会 員 数	現 在 会 員 数		
動物園会員	88	87	△1	のぼりべつクマ牧場(23. 4. 20退会)
水族館会員	66	86	△1	櫃原市昆虫館(24. 3. 31退会)
		67	1	あわしまマリンパーク(23. 6. 1入会)
計	154	66	△1	犬吠崎マリンパーク(23. 6. 17退会)
		152	△2	

### 2. 事務局常勤役員ならびに職員に関する事項

#### (1) 事務局常勤役員

役 名	氏 名	当初就任年月日	摘 要
専務理事	欠 員		

#### (2) 職 員

職 名	氏 名	採用年月日	担 任 事 務	摘 要
参 与	富澤 太一	H17. 4. 1.	非常勤	
参 与	藤河 完治	H21. 4. 1.	非常勤	
事務局長	荻須 哲三	H21. 4. 1.	事務総括	
職 員	上出 祐子	H58. 9. 1.	経理事務	

### 3. 通常総会、理事会等の開催状況

#### (1) 通常総会

- ・開催年月日 平成23年 5月19日

#### (2) 理事会

- ・第1回理事会 平成23年 5月18日
- ・第1回臨時理事会（書面理事会） 平成23年 7月11日
- ・第2回臨時理事会 平成23年 9月22日
- ・中間理事会 平成23年11月29日
- ・第2回理事会 平成24年 3月 5日
- ・第3回臨時理事会（書面理事会） 平成24年 3月31日

### 4. 許可、認可および承認に関する事項 該当事項なし

### 5. 契約に関する事項

#### (1) ワシントン条約関連任意放棄動物の保護収容寄託

- ・契約年月日 平成23年4月1日
- ・相手方 経済産業省大臣官房会計課長
- ・件 名 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約に基づき任意放棄され取得した生きた動物に係る保護及び飼育の寄託管理
- ・期 間 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
- ・寄託限度額 19,856,429円（消費税を含む）

#### (2) 生息域外保全モデル事業(動物)実施業務委託

- ・契約年月日 平成23年5月18日
- ・相手方 財団法人 自然環境研究センター
- ・内容・目的 絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全基本方針に沿った各種動物の生息域外保全の取組のモデル事業を実施することで、我が国における生息域外保全の取組のあり方を提示し、今後の取組に対して示唆を与える。
- ・期 間 平成23年5月18日から平成24年3月16日まで
- ・契約金額 1,606,500円（消費税を含む）



(3) 平成 23 年度動物園等における高病原性鳥インフルエンザ対策に係る情報収集業務

- ・契約年月日 平成23年8月31日
- ・相手方 環境省
- ・内容・目的 国内及び外国の特に動物園における鳥インフルエンザ対策の実施状況や事例を収集し、動物園等で取り組むべき事項のとりまとめるための検討を行う。
- ・期間 平成23年9月1日から平成24年3月31日まで
- ・契約金額 966,000円（消費税を含む）

6. 寄付金に関する事項

NO	金額	氏名	備考
1.	1,000,000	株式会社ニコン	共通
2.	782,774	株式会社 夏目	共通
3.	31,500	有限会社 ゲンベエ	共通
4.	3,058	コロンビアミュージック	野生動物保護
5.	9,657	株式会社 伊藤園	野生動物保護
6.	193,513	アシード	野生動物保護
7.	79,110	サンインチュウオウヤクルトハンバイ	野生動物保護
8.	500,000	南海電気鉄道株式会社	野生動物保護

7. その他重要事項

(1) 役員の異動

1) 新任役員

役員名	氏名	就任年月日
理事	橋川 央	平成23年4月 1日
〃	日橋 一昭	平成23年5月19日

2) 辞任役員

役員名	氏名	辞任年月日
理事	北村 健一	平成23年5月31日